

児童文学者 齋藤惇夫氏 講演会

絵本と子ども

多くのメディアに囲まれ、膨大な情報が飛び交う中、子どもたちが真に必要なとしているものは何なのか——絵本やわらべうた、そしてファンタジーの持つ力と、子どもたちの成長、大人のあり方が、古今の傑作とともに解き明かされる、世にも贅沢なひととき。一生の宝となる講演会です。

2015年2月22日(日) 入場無料(申込制・先着600名)

都筑公会堂

13:00開場 13:30開演

申し込み方法

- チケットを取りに来る
一時保育「ぼっぼ」(センター北駅 徒歩5分)
- メールで申し込む

info@nohara-net.com

住所・氏名・電話番号・人数を
明記の上送信下さい。
確認メールをお送り
します。

主催:ここぼっぼ

後援:都筑区役所/NPO法人のはらネットワーク

協力:都筑図書館/つづきこ読書応援団

お問い合わせ:一時保育「ぼっぼ」

045-914-6272 (担当:山田)

※この講演会は、子どもゆめ基金
の助成活動です。

※駐車場は有料です。
台数に限りがあります
ので公共交通機関を
ご利用下さい。

齋藤惇夫 さいとう あつお

1940年、新潟市に生まれる。福音館書店の専務取締役(編集責任者)として子どもの本の編集に携わり、2000年に退社後は創作活動に専念。著書に『グリックの冒険』(1971年・岩波書店刊 日本児童文学協会新人賞受賞) 『冒険者たち』(1979年・岩波書店刊 国際アンデルセン賞優良作品賞受賞) 『ガンバとカワウソの冒険』(1983年・岩波書店刊 野間児童文芸賞、国際アンデルセン賞優良作品賞受賞) 『哲夫の春休み』(2011年・岩波書店刊)がある。河合年雄氏のあとを継ぎ、小橋ファンタジー大賞審査委員長をつとめるなど子どもの文化について積極的に発言している。